



式場に整列する建築科の新入生

祝入学

第77回入学式が本日13時から旭工体育館で行なわれた。6学科の計205人が中島泰彰校長先生に入学を許可された。新入生を代表して工業化学科の余田哲平君が宣誓を務めた。

205人が希望を胸に 旭工で充実した生活を



工高タイムス

北海道旭川工業
高等学校新聞局
〒078-8804
北海道旭川市緑が丘
東4条1丁目1-1
発行人(局長)
佐々木 晃成
(電気科3年)



新入生を迎える保護者の皆さん

新入生の意気込み

人間関係をしっかりと築く

◆工業化学科

知っている先輩がいたので旭工にきた。周りの人たちに置いていかれないように勉強を頑張る。

卒業後は就職を考えている。部活動は写真部に入りたい。

◆建築科

たくさん建物を建築して多くの人を幸せにするため、建築科を希望した。部活動と勉強を両立しながら資格取得にも力を入れていきたい。

将来の夢は建築士。部活動はソフトテニス部で大会で良い成績を残したい。

◆土木科

土木で学びたい内容があったこと、バレーボール部が強いと聞き入学を希望した。中学生の気分から切り替えて早く高校に慣れたい。卒業後は土木技術者として就職したい。

行事を盛り上げる

生徒会長
高木風吹君(機3)



マグロの寿司が好き

旭工 ライフ

旭工は礼儀やマナーが売れだ。企業の方や地域の方々に「目上の人への態度が良い」「人とのコミュニケーションが取れる」と評価されている。普通高校とは違い、資格取得や就職を目指す職業高校なので様々な指導が多いが、自分の将来のためにちゃんと吸収していこう。

生徒会執行部では主に工高祭や体育文化大会などのイベントの企画や運営を担っている。生徒総会では全校生徒からの意見に真摯に向き合っている。

去年5月にコロナ禍の規制が緩和され通常に戻った行事を更に盛り上げていくのが今年度の目標。7月の工高祭では地域の方や保護者の方にたくさん来校してもらい一緒に盛り上げていきたい。

旭工には明るくフレンドリーな人が多い。はめを外し過ぎないように高校生活を楽しんでいこう。

保護者からのエール

自分らしく誠実な大人に

◆工業化学科

旭工に合格してとてもうれしい。本人が入りたかった高校なので、勉強を頑張って3年間楽しく充実した生活を送ってほしい。

◆建築科

毎日塾に通って努力した結果が出てくれて良かった。資格を取得して将来に役立てる専門的な知識をたくさん得てほしい。大人になって社会に

い。部活動はバレー部に入ってレギュラーになりたい。

◆電気科

トヨタやJRに就職するために電気科に進学した。資格の勉強を頑張る、すべての資格を取得したい。

◆情報技術科

楽しみな行事は旭工オリンピックで、長距離走に出場したい。部活動には入らず、水泳を続けて頑張りたい。

◆情報技術科

動画編集の仕事に携わりた

見る人が感動し、AIに負けない動画を作りたい。

◆電子機械科

整備士の仕事に憧れていた。電子機械科に決めた。人間関係や資格取得などを頑張りたい。卒業後は整備士。中学生の時にバスケットボールをしていたのでバスケット部に入ろうと考えている。

◆電子機械科

を目標にするように応援してきたい。息子には自分らしく楽しい高校生活を送って、誠実な大人になってほしい。

◆情報技術科

旭工で将来につながる勉強をして、友達をたくさんつくり学校生活を楽しんでほしい。人の道から外れない大人になっ

◆電子機械科

入学後は積極的に資格取得に励んでほしい。将来は社会に出て恥ずかしくない大人に成長してほしい。



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから3年間楽しく充実した学校生活を送ってください▼旭工で過ごした1年間を振り返り、新入生に伝えたいことを4つ書く▼1つ目は勉強だ。私はテストの点数は良くも悪くもない。高校生になり勉強が難しくなり、中学校のときよりも勉強時間が増えた。また、取るべき資格も多いのでその勉強も必要だ。こつこつ勉強をしてテストで良い点数を取り、資格にも合格していこう▼2つ目はあいさつだ。旭工では常にあいさつが飛び交っている。10日の集団行動であいさつや返事などを学ぶ。私は昨年「ここまであいさつや返事に力を入れるんだ」と驚いた。しかし、あいさつをするとお互いに良い気分になる。皆で元気なあいさつをしていこう▼3つ目は部活動だ。部活動をやっていると思う。部活動は、他学科の生徒や先生と交流できることだ。また、新聞局では取材などがあるので色々な部の生徒とも交流できる。私は新聞局でコミュニケーション能力がかなり上がった▼4つ目は友人関係だ。私は高校に入り新しく友人ができるか不安だったが、自分と同じ趣味のクラスメイトと出会って、よく話すようになり仲良くなった。旭工は良い友人ができると思う▼新聞局は8人で活動していて先輩と後輩の仲が良い。毎年全道大会や全国大会に出場している。旭工の皆さんの取材に行くので、ご協力を。(化2佐々木)

思い合えるクラスに

電気科

和田 亮一 先生

電気科
ボクシング部顧問



サンドバックを打つ和田先生

教師になろうと思ったのは、中学生の頃に尊敬できる先生に出会えたから。生徒思いの熱血教師で生徒の声に耳を傾けて寄り添ってくれる先生だった。

座右の銘はアメリカ合衆国の思想家、ラルフ・ワルド・エマーソンの名言「どんな人間でも何かの点で私よりも優れている。私の学ぶべきものを持っているという点で」。

好きな食べ物は「ゴーヤチャンプル」。

高校時代はボクシング部に所属しており、インターハイで優勝した。大学時代に北京オリンピックの強化指定選手に選ばれたり、2022年にスペインで行なわれたボクシング世界選手権大会で日本代表のコーチを務めたりした。

旭工2年目。クラス目標はお互いを思い合って笑顔で過ごせるクラスにすること。新入生には高校生活に早く慣れ、居心地の良い学校生活を送ってほしい。

ダンベルを持つ白戸先生

電子機械科

白戸 愁真 先生

電子機械科

山岳部顧問



当たり前をしっかりと

好きな食べ物
は肉料理全般。

大学卒業後、旭工に来て2年目。担任は今回が初めて。学生時代は中学でも高校でも野球部に所属し、セカンドとして活躍していた。野球の技術はもちろん私生活や礼儀をしっかりとすることを意識していた。色々な先生方に出会って自分も教師になろうと思った。特に高校時代、授業や部活動でお世話になった上村健太先生をとても尊敬している。

座右の銘は校訓と同じ「信頼される人になれ」で生徒と一緒に目指していく。明るく元気で活気のあるクラスにしていきたい。礼儀やマナー、あいさつなど当たり前のことをしっかりとできる「信頼される生徒」に育てていきたい。

趣味はバイクで夏はツーリング、冬はスキーやスノーボードなどのウィンタースポーツを楽しんでいる。

化学を好きになって

工業化学科

細野 護 先生

工業化学科
美術部・山岳部顧問



三角フラスコを持つ細野先生

旭工は赴任したばかりで担任は11回目。高校時代に担任の先生から優しさや情熱を感じて教師になろうと思った。化学を好きになってもらえるように授業の準備をしっかりしたいと考えている。

高校では部活動は入らなかったのですが、皆にはぜひ部活動をしてほしい。明るくて楽しいクラスにしたい。生徒にはうそをつかない人になってほしい。自分について理解し向いている進路先を選べるようにしっかりサポートしたい。

行事は工高祭や旭工オリンピックの部対抗リレーが楽しみ。

座右の銘は「人生を楽しむために努力を惜しむな」。趣味は登山や山菜採り、ランニング。山は冬も含めて年間約70〜80回登っている。苦手の食べ物は納豆だけ。

学年主任の木本道子先生をはじめ6人の1年生担任を紹介する。先生の趣味や座右の銘、教師になったきっかけ、どんなクラスにしたいかなど取材した。

チャレンジする生徒に

建築科

木本 道子 先生



コンパスと三角定規を持つ木本先生

数学科
美術部顧問

旭工2年目で担任は6回目となる。教師になったのは、中学校の時に友達に「数学を教えるのがうまい」と言われ、自分でも教師に向いていると考えたから。

新入生には素直に人の話を聞き、無駄と感ずいても線引きせず、手を抜かないでチャレンジして何事もやり遂げる生徒になってほしい。

座右の銘は「今頑張らずしていつ頑張るのか」。担任として生徒が社会に出て困らないように、身だしなみやあいさつなどの生活態度やマナーを指導していきたい。

工高祭や旭工オリンピックなどの行事では生徒の活躍する姿を見るのが楽しみ。

好きな食べ物はみそラーメン。

元気でメリハリを

土木科

滝沢 英子 先生



柔道の構えをする滝沢先生

体育科
柔道部顧問

旭工に来て2年目、担任は4回目で1年生の担任になるのは15年ぶり。明るく元気でメリハリのあるクラスを作りたい。社会に貢献できる生徒に育て、色々な学校行事で活躍できるように力を入れていきたい。

高校時代は旭工で柔道に明け暮れていた。自分のことを思ってくれる教師に小学校、中学校、高校で出会って、自分も生徒の力になりたいと思いい、教師を目指した。

座右の銘は校訓の「信頼される人になれ」。

趣味は家庭菜園とスポーツ観戦で、野球やサッカーなどの日本代表の試合をよく見る。好きな食べ物は焼肉で、特にホルモンが好き。

自主性を高めて

情報技術科 新崎 正樹 先生

地歴・公民科 演劇部顧問



地球儀を持つ新崎先生

旭工2年目。担任は8回目で旭工では初めて。楽しくやっていけるクラスにしたい。生徒の自主性を高めるために力を入れていく。常識を持った社会人になれるように学校生活を過ごしてほしい。

高校時代に部活動はしていなく帰宅部だった。先生になろうと思ったのは自分の高校生活が楽しく充実した日々だったので、これからの高校生たちにも楽しんでもらいたいと思ったから。

座右の銘は「足るを知る」。意味は身の丈にあった幸せを知ること。

趣味はガンダムのすべて。